

日本大学東北高等学校同窓会会報

# 桜 OUDA 采

 **NIHON UNIV. TOHOKU DOUSOU**  
日本大学 SINCE 1957

## 第15号



昭和41年に第4期工事として本館(現3号館)が完成

発行日/2017年8月1日

発行/日本大学東北高等学校同窓会  
郡山市田村町徳定字中河原1

<http://www.nichidai-tohoku-dousoukai.com>

編集/日本大学東北高等学校同窓会桜采編集部

全景



外観\_南側



現新校舎パース図面(完成予想イメージ)

## 新校舎建設に向けて

「東京オリンピック(2020年)」開催の年の3月、母校は新校舎に生まれ変わります。会報誌桜采では、毎号完成までの経過をお伝えする予定です。「現3号館」(右上写真)をはじめとし、「現2号館」、「現1号館」の順に解体されます。

## 会長あいさつ

### 第7代会長就任のご挨拶

日本大学東北高等学校 同窓会会長  
16期生 村山 廣嗣



皆様におかれましては、益々ご健勝・ご活躍のことと拝察いたします。又日頃より同窓会活動、運営に関しまして、何かとご指導ご協力を賜っておりますこと心より厚く御礼申し上げます。

このたび柳沼前会長の後を受けまして、会長に就任致しました16期卒業の村山廣嗣でございます。もとよりその器でもなく、かたく辞退申し上げた処ですが、一昨年行われました創立60周年記念事業前に前会長が体調を崩され、回復されるまでということで会長代理をお受け致しました。

昨年度、前会長より体調が思わしくないとのことで辞任願いが再々提出されたこともあり、浅学非才ではありますが会長に就任させていただいた処であります。

入学式や卒業式、定期演奏会などの学校行事にも出席させて頂き、高校での生き生きとした生徒を見てみると、ふと自分の学生生活を懐かしく思い出します。本年度から同窓会としてアカシヤ会スポーツ・文化功労賞、学業努力賞を新設し、表彰させていただきました。

平成15年度より「同窓会三世代賞」を表彰しています。本年は6組の方々に贈らせていただきました。合計で38組の方々が三世代にわたり本校を卒業されたこととなります。日大東北高校は同窓生三万五千余名を超えるまでになりました。平成32年には、新しい校舎が出来ます。「仮称同窓会記念館」の設置に向け学校に要望している処です。(詳細については会報誌等で報告致します。)同窓会におきましても、さらなる発展に向け会報誌「桜朶」の充実を計り、卒業生の意見やご活躍を紹介していきます。

今後とも学校並びに同窓会各支部等での催し物などにこれまで以上の参加を頂き、校歌を声高々に歌い、青春時代を語り、卒業生相互の親睦が図れるようご協力をよろしくお願い申し上げます、会長就任のご挨拶と致します。

## 教務部主任あいさつ

B・P・C・A

日本大学東北高等学校  
教務部主任 高須 章光



同窓生の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。この度の同窓会誌「桜朶」第15号の発行、心よりお祝い申し上げます。

私は、昭和63年に本校に赴任しまして30年を迎えますが、昨年より教務部主任を務めています。高等学校の校務分掌の中で、教務部は主に授業や成績に関する業務を担当するとともに、年間や月間の行事計画の立案、入学式・卒業式の実施など、学校運営に必要な事務を担っています。そうした教育活動の中で、生徒に対して年5回「教務だより」を発行し、学業に対する啓蒙を行っています。今回は、平成29年度第1号に掲載したコラムを紹介いたします。

### B・P・C・A

教室の黒板の上を見てみましょう。2つの額が掲示されているはずですが、1つは「本校の学校目標」、もう1つには「今年度の学校目標」が記されています。日本大学東北高等学校は、附属高校として、日本大学の「目的及び使命」に基づき3つの教育方針(校訓)が定められました。それぞれの意味は、以下のようになります。

1. 忠恕の心 まごころを持って相手を思いやること
2. 自主創造 自主的に学び、考え、広く世界的視野を持つと共に、新しい自分、心豊かな自分を想像すること
3. 真剣力行 強い意志を持ち、目的に向かって全力を尽くすこと

そして、この3つの教育方針の具体的な展開として、1年ごとに「学校目標」が設定されます。今年は「真剣力行」の精神を体現するものとして

「Believe in your potential and charge ahead  
-前進…自分の力を信じよう」

が、学校目標になりました。

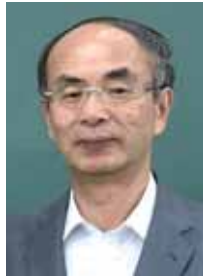
4月から始まった新年度も2カ月が過ぎようとしています。新しい環境の中で、皆さんは自分の力を信じて前に進んでいますか？学業においても、クラブ活動や日常生活の中でも前進するには、人間的に成長するには努力が必要です。辛く逃げたいとき、挫けそうなきもあはずです。その時踏みとどまり、さらに前に進むには、周囲の援助があったとしても、最後はその人自身の力です。10代の皆さんには、大きく成長できる可能性があります。どこまで自分を大きく成長させることができるか、それは高校生での時期の努力に負う所が多いのです。

英語では、成句中の重要語句の頭文字をとり、その成句の意味を表す習慣があります。「B・P・C・A」を、常に座右の銘として、自分の成長に挑戦していきましょう。

# 「母校にはぐくまれ、母校を見守り…」



昭和47年卒 19期生 普通科  
柴田 広先生



昭和47年卒 19期生 普通科  
渡邊 和美工学部事務局長

卒業後すぐに日大職員に就かれ、昨年、事務方のトップになられた渡邊和美工学部事務局長。日本大学大学院修了後、化学の先生として母校の教壇に立たれた柴田広先生。

高校3年間、同じクラスで苦楽を共にしたお二人は、40年近くそれぞれの立場から母校を支えてこられました。

当時のままの教室に席を設け、高校時代の忘れがたい思い出や恩師郡司先生との運命的なつながり、そして現役でおられる視点から母校の今後への想いなどを伺いました。

## 土足、人の多さ、カップアイスにびっくり

**高橋** まず、高校時代の思い出をお聞かせください。

1年生ではどんなことが印象深かったですでしょうか。

**渡邊** 入学して驚いたのは校舎内が土足だったことですね。他の高校にはなかったことですから。生徒の多さも驚きでした。我々のクラスで64人位いたので、この教室の後ろは歩けるスペースも



現3年3組現教室入口

なかったほどです。

**柴田** 土足には私もびっくりしました。道路が今のように舗装されていなかったの、教室に土ぼこりが入ってきて机の上が真っ白になるんです。それをみんな、学帽で拭いていました(笑)。暖房が当時では珍しいスチーム式だったことも忘れられないですね。

**渡邊** 高校の体育館がまだなかったからですが、入学式が工学部の大きな体育館というのもすごかった。生徒会長が校旗を掲げて入場してくる。荘厳でカッコ良かったのを覚えてます。

**柴田** 高校なのに食堂もありましたよね。

**渡邊** そう、木造の校舎に薄暗い食堂がありました。



食堂が完成

**柴田** そこでカップのアイスも買えたんです。何で食べるかという、スプーンではなく割り箸。それがまた何ともうまかった～。私立の付属高校だからなんでしょうね。斬新さがいろいろありました。

**高橋** 2年生の時の思い出というと修学旅行でしょうか。当時は夜行列車だったそうですね。

**渡邊** 寝台なんてない夜行列車ですよ。だからボックス席に板を置いて寝るんです。床にも寝ましたね。今より期間が長かったので、京都に大阪、琵琶湖、伊勢神宮にも行きました。とにかくいろんな所をまわったと記憶しています。鈴鹿ではサーキットが見える旅館に泊ったんですよ。

**高橋** 行動は班別だったのですか。

**柴田** そんなことしたら大変ですよ! クラス全員で動い



3年3組 集合写真



思い出の旅 関西旅行

て点呼があって、自由時間は夜だけでした。京都の新京極辺りから生まれた生徒もいたようで。都会ではウチあたりはかわいい部類でしたよ。

### 部活も勉強も懸命に取り組んだ3年間

**高橋** 部活についてはいかがですか。渡邊事務局長はスキー部に入られましたね。

**渡邊** 先輩でもあった従兄弟に、部活をしたほうがいいのか相談したらスキー部を勧められたんです。入ってみると雪がない時期は陸トレですよ。阿武隈川の岸を行合橋まで往復で走ったり、先輩を担いでスクワットしたり、とにかく毎日走るだけ。そしてシーズンになると猪苗代で合宿しました。面倒見のいい先輩が多かったので、部活は面白かったですね。今でも年に何回かお会いする先輩がいます。

**高橋** 電車通学だった柴田先生は、部活はどうされたのですか。

**柴田** 往復2時間位かかったので、いわゆる帰宅部でした。ただ、電車の待ち時間があるので、同じ電車に乗る友人5~6人と駅前をブラブラしたり、駅の立ちそばを食べたりしていました。学校に残って勉強もしましたよ。担任の郡司先生が勉強しろと言っていましたし、進学志望でしたから。

**高橋** 普通科は専門の科より大学進学を目指す人が多かったようですね。



渡邊先生

**渡邊** 全員ではないけれど、それなりにいたと思います。そういう生徒が昼休みや放課後、けっこう勉強していました。電車通学の生徒もそうですが、自主的にやっていたんです。

**柴田** 郡司先生がNHKラジオ講座の数学と英語のデモテープを持ってきてくださって。それを聴いたりして、みんなよく勉強していたと思います。

### 卒業後の人生を決めた郡司一弘先生

**高橋** 郡司先生は、さまざまな逸話を残された名物先生です。おふたりにとってはどのような先生だったのでしょうか。

**柴田** 若い頃の先生はオールバックで黒ぶちメガネ。そんな風貌で身長も高いから、教壇に立つととても迫力がありました。指導部も担当されていたので、生活指導は厳しかったですね。

**高橋** 郡司先生から直接お聞きしたのですが、当時は生徒が多いから試験の時に首を振るだけでカンニングできてしまう。だから首をピクリとでも動かしたらカンニングだぞと言って、そうさせないようにずっと仁王立ちしていたそうです。こういう経験はされましたか。

**渡邊** 普通科はそこまではなかったかと…。怖い先生だという情報は前もって入っていたんですよ。入学してみたら、その通り怖かった(笑)。でも、冗談も言われるし、厳しくてもネチネチといつまでも引きずるようなことはなかった。カラッとさっぱりした先生でした。

**高橋** お二人は卒業後も郡司先生と深く関わってこられましたね。

**柴田** 日大理工学部から大学院に進んで、就職を考えていた頃でした。東京で建築事務所をしている従兄弟がウチに来いと言ってくれたので、最初はそこに行くつもりでした。研究室助手の話もありました。ところが郡司先生から「おまえは化学だ！」と誘いが来たんですよ。



柴田先生

父親も先生の話に乗り気で、知らないうちに母校の化学の先生になっていたという感じなんです。もちろん、自分自身納得した上でのことですが。

人生を決める人が何人かいると言いますが、郡司先生はまさしく私の人生を決めた一人だと思っています。

**高橋** 渡邊事務局長にはどんなアプローチがあったのですか。

**渡邊** 卒業の頃に工学部の事務局に欠員が出て、高校に誰かいないかということで、郡司先生から母親に電話が来たんですね。私は大学に行くつもりでいたんですが、「進学するより絶対いい」と。それで、先生から声をかけていただいたのだからと、進学を断念して勤めることにしました。こういう経緯を振り返ると、郡司先生はわれわれ二人の『運命の人』ですね。



第1回アカシヤ祭開催

### ハードとソフト、両面から母校を支える

採用はお二人とも昭和53年ですね。

**渡邊** 私は工学部の職員をしながら日大の通信学部に通ったんです。そして通信教育学部を卒業してから採用試験を受けました。1年生の時に夏期スクーリングに出席できなかったのが、卒業まで5年かかってしまいました。それで大学院を出た柴田先生と同じ年の採用になった、ということです。

**高橋** それもまた運命的なお話ですね。

**渡邊** そうですね。再会したのは日大の研修所で新人研修があった時でした。昔は職員と附属校の教員が合同で研修していたので「あれ、なんているの？」と。それからず～っと一緒ですよ。

**高橋** それ以来、渡邊事務局長は工学部職員として生まれ、役職を歴任された後、昨年からは事務方のトップになられました。この間、高校のこともしっかり見つめてこられたわけですが、事務局長として母校に対してどんな思いをお持ちでしょうか。

**渡邊** 少子化で16歳人口は減っています。厳しい状況は今後も続きますから、その中をどう生き抜くか、学校を未来へ存続させていく方策がますます重要になります。そのためにわれわれは、ハード面のサポートをきちんとやっています。新しい校舎とグラウンドをつくるのもその一つで、ハード面の整備は事務局が担当しますが、教育等のソフト面は先生方がんばっていただくしかないので、何とかよろしくをお願いするばかりです。

**高橋** 柴田先生は学級担任から学年主任、進路主任や生徒会指導部主任も務めてこられました。長年、生徒と直接関わってこられた立場からお聞かせください。

**柴田** 一番に考えていることは、郡司先生から続いている化学の伝統を今後も引き継いでいけるようにしなければ、ということです。郡司先生から教え子の私、私から教え子の伊東先生、そして伊東先生から横山(旧姓:本田)先生と、4代も教え子が化学の教師になっています。これほど続いているというのはなかなかありません。教員人生残り1

年の中で、郡司先生の教を伊東先生はじめ若い先生方にきちんと伝えていくことが私の役目だと思っています。

### 人間的な強さ、考える力のある生徒に

**高橋** 生徒に対してはどんな思いや望みをお持ちでしょうか。最後になりますがお聞かせください。

**柴田** 長年、直接指導してきて、最近の生徒は心の部分が弱くなっていると感じています。昔の生徒は何かあっても、その時だけで長引くようなことはなかった。打たれ強かったんでしょうね。今はずっと保健室登校だったり、先生方が24時間心配している生徒もいます。世の中がどんどん変わって複雑になっているので、今のほうが生きにくくなっていることは重々わかります。だからこそ、心の強さがより大事になってくると思うんです。進学校という看板を掲げていれば進学指導は大事なことですし、これからの先生方はもっと大変になると思いますが、心の部分を見つめて人間的に強い生徒に育てていって欲しいですね。

**渡邊** 柴田先生の話には、自分で考えてやるということが関わってくるかと。日大が理想とするところの「自主創造」です。やはり、自分で物事を考える力を高校の生徒にも持たせないといけないと思います。自分で考える力は、困難な時代を乗り越えていく糧になったり、人生のいろいろなところに派生していきますから。

そのためには生徒それぞれに合った教育をいかにやるか、工学部で実践しているオーダーメイドの教育が重要になると考えています。大学も高校も、教育機関の役割は日本を支える若者を育てていくこと。福島にある教育機関としては、震災の影響が依然として残る福島を支える人を育てるという役割もあります。日大の附属高校だからこそできる教育で、日本や福島を支えられる心の強い、考える力のある生徒が育っていくのではないのでしょうか。

**高橋** 貴重なお話をお聞きできて大変勉強になりました。柴田先生は残り1年、渡邊事務局長には65歳までがんばっていただき、母校をバックアップしていただければと思います。本日はありがとうございました。



インタビュー風景

平成29年6月28日(水)午後1時30分～ 聞き手/高橋 敏行

平成28年度

# 母校の行事



入学式



マラソン大会



体育大会



アカシヤ祭



アカシヤ祭



体育大会



修学旅行



修学旅行



卒業式

## クラブ活動の記録

### 第71回国民体育大会

#### 陸上競技部

男子少年男子共通 円盤投 3位 佐藤 皓人(西 袋)  
女子少年女子B 砲丸投 10位 西崎 湊(石 神)

#### 水泳部

女子女子A 50m自由形 4位 国分 香奈(郡山一)

#### ライフル射撃愛好会

男子ビームピストル40発 2位 国分 翔麻(本宮二)

### 第10回日本ユース陸上競技会

#### 陸上競技部

男子 砲丸投 5位 佐藤 皓人(西 袋)

### 第21回東北高等学校新人陸上大会

#### 陸上競技部

男子 400m 3位 高沢 一希(矢 祭)  
800m 3位 高沢 一希(矢 祭)  
砲丸投 1位 佐藤 皓人(西 袋)  
円盤投 1位 佐藤 皓人(西 袋)  
女子 砲丸投 1位 大千里歩美(富 田)

### 第24回東北高等学校相撲選抜大会

#### 相撲部

男子 個人 体重別 優勝 田中 界渡(鯉ヶ沢)

### 第38回全国選抜高校テニス大会

#### 硬式テニス部

女子 団体 2回戦進出 邊見 文香(野 田)  
伊藤 萌夏(岳 陽)  
橘 薫乃(郡山二)  
遠藤 春希(行 健)  
鈴木 夢実(郡山六)  
田中 美海(郡山二)  
細川 京香(行 健)  
名城 実希(長 沼)  
渡辺 渚沙(郡山五)  
女子 個人 2回戦進出 伊藤 萌夏(岳 陽)

※『広報日大東北』より転載

## 平成28年度 卒業生進路状況(過年度生含む) 平成28年度卒業生総数523名

※延べ人数

日本大学 235名 国公立大学 51名 他私立大学 270名 専門学校 65名 就職 7名

### ◆ 日本大学

法	11	商	25	危機管理	1	生産工	16	生物資源	14	専門学校	1
文理	16	芸術	5	スポーツ科	1	工	94	薬	4		
経済	8	国際関係	6	理工	30	歯	2	短期大	2		

### ◆ 国公立大学

東北大学	2	国際教養大学	1	福島大学	12	会津大学	7	福島県立医科大学	3
埼玉大学	2	新潟大学	4	宇都宮大学	5	茨城大学	4	山形大学	3

### ◆ 私立大学

東京理科大学	4	明治大学	3	青山学院大学	1	立教大学	3	中央大学	3
法政大学	4	同志社大学	2	成蹊大学	2	獨協医科大学医学部1		東北医科薬科大医学部	1

※詳細は学校H・Pをご覧ください。ほか



# 三世代賞

平成28年度は、写真左から高橋佑輔君(行健中)、高田和幸君(守山中)、鈴木彩華さん(安積中)、内山義生君(郡山七中)、松本新君(長沼中)、橋本怜奈さん(富田中)の6名が受賞。受賞者には三世代の名前の入った記念の楯と記念品として置き時計が贈られました。平成27年度までに32名の受賞があり、今回の6名を合わせると計38名の受賞となっています。



※「三世代賞」は、卒業する生徒ご本人・ご父母様・祖父母君様の三世代に亘る母校愛に敬意を表するもので、平成15年度に設けられました。

## 平成28年度 アカシヤ会スポーツ・文化功労賞授与



櫛田	大地	1組	体操部
伊藤	萌夏	1組	テニス部
国分	香奈	1組	水泳部
邊見	文香	1組	テニス部
柳沼	翠	1組	陸上競技部
渡邊	綺音	1組	陸上競技部
齋藤	慶太	2組	ライフル射撃愛好会
酒井	萌	2組	ライフル射撃愛好会
遠藤	隆羅	4組	ライフル射撃愛好会
佐藤	怜	4組	柔道部
橋	薫乃	4組	テニス部
八巻	満理奈	5組	ライフル射撃愛好会
須藤	和輝	7組	ライフル射撃愛好会
平石	慶介	7組	ライフル射撃愛好会
十文字	宏太	8組	ライフル射撃愛好会
黒澤	梨紗	9組	体操部
鈴木	涼平	10組	ライフル射撃愛好会
國分	翔麻	11組	ライフル射撃愛好会

## 平成28年度 アカシヤ会学業努力賞授与



小松	航大	1組	丸山	直美	11組
高橋	龍二	3組	安保	昇馬	12組
星	瑞希	3組	大槻	芹佳	12組
増田	寛	4組	先崎	涼華	12組
日野	奈央子	9組	佐藤	維	14組

### 平成28年度 退職された先生

※敬称略



【英語科】  
阿部 雅壽

昭和61年4月1日～  
平成29年3月31日



【情報科】  
齋須 弘泰

平成17年4月1日～  
平成29年3月31日



【国語科】  
本多 真史

平成18年4月1日～  
平成29年3月31日



【理科】  
梁取 春光

平成22年4月1日～  
平成29年3月31日



【情報・数学科】  
長谷川 洋大

平成22年4月1日～  
平成29年3月31日



【数学科】  
山田 麻奈未

平成23年4月1日～  
平成29年3月31日



【数学科】  
鈴木 順久

平成25年4月1日～  
平成29年3月31日



【数学科】  
吉村 葵

平成25年4月1日～  
平成29年3月31日



【保健体育科】  
富岡 亜由美

平成27年4月1日～  
平成29年3月31日



【数学科】  
鈴木 菜月

平成28年4月1日～  
平成29年3月31日



【国語科】  
西牧 成子

平成28年6月1日～  
平成29年3月31日

### 退職された職員



【事務課】  
内藤 美穂子

平成26年9月22日～  
平成28年3月31日



【事務課】  
柳沼 友江

平成16年11月1日～  
平成28年7月31日



【事務課】  
橋本 智恵

平成27年10月1日～  
平成28年7月31日



【事務課】  
黒木 澄子

平成4年9月7日～  
平成29年3月31日



【事務課】  
鈴木 順子

平成28年4月11日～  
平成29年3月31日



## 福島の今を伝える歌「雲のかなた」を披露 合唱部



福島県HP QRコード  
「雲のかなた」音源

平成29年3月6日(月)に、福島の今や想いを多くの人へ伝えるための歌『雲のかなた』の披露会が行われました。歌手の谷村新司さんが作詞作曲を手掛け、本校合唱部が収録と初演を担当しました。



**部長(八賀 円)**

…私たちだけでなく、ぜひ多くの皆さんにこの曲を歌って頂いて、私たちとはまた違った、いろいろな視点や想いがこもった『雲のかなた』が演奏され続けていくことを楽しみにしたいと思います。

**副部長(大越 昭典)**

…収録の際は、作詞作曲者である谷村さん

直接ご指導して頂いたことは、とても貴重で素敵な経験になりました。

“10years after”という歌詞が繰り返し出てくるのですが、メロディと言葉がとても自然に心に入ってきて、歌う人や聴く人それぞれが「10年後の自分、10年後のふるさと」に思いを馳せるきっかけになると思います。

**顧問(成瀬 鮎見)**

…ふるさとへの想いや未来への希望が感じられる、心温まる曲です。とても深い想いのこもったこの作品を演奏させて頂いたことを誇りに思います。 ※右上のQRコードより音源を聞く事ができます。製作秘話等は、福島県HPをご覧ください。



## 平成29年度 教育実習生15名が母校の教壇に

5月29日(月)～6月17日(土)に実施された教育実習に15名の卒業生が参加した。参加者は次の通り。大山友希奈、久野健、星椎菜、廣瀬千明、樋口堯也、坂本圭祐、野地隼平、渡邊玲奈、阿部真菜、今井翔太、亀田実紀、篠原有花、宗像航平、遠藤 真由、高田菜生。(敬称略) 久しぶりに母校の恩師たちの指導を受けた実習生達は、当初緊張した面持ちであったが、徐々に教室やクラスの生徒達とも溶け込んで3週間の実習生活を終了した。



「目の前にいる生徒に、自分のすべてを差し出す」

実習期間中、ご指導頂いた先生方のこの言葉がとても印象的でした。一つの授業を準備する大変さ、授業中の全生徒への配慮や個別の対応など、以前は気づかなかったものばかり。改めて先生方の熱意や覚悟を肌で感じる三週間でした。

尊敬する恩師のもとで、教育実習ができたことを大変誇りに思います。今回の学びを胸に刻み、教壇に立った時の励みとして参ります。本当にありがとうございました。(久野 健)

## ボクシング東洋太平洋スーパーバンダム級王者 大竹秀典選手 市長表敬訪問

### 大竹秀典選手 略歴

平成12年卒 第47期生 建築科

- 1981年7月6日生まれ
- 郡山市富久山町 出身
- 21歳でアマチュアボクシングを始め、23歳で上京。プロ選手となる。
- 2010年12月10日、ボクシングを始めるきっかけとなった同郷の福島学選手(郡山市日和田町出身)に6ラウンドKO勝ち
- 2012年8月6日、第36代日本スーパーバンダム級王座を獲得
- 日本タイトル4度防衛後、2014年9月に世界タイトル挑戦のため王座返上
- 2014年11月22日、世界タイトルマッチに挑戦(判定により惜敗)
- 2017年3月17日、第43代東洋太平洋スーパーバンダム級王座を獲得
- 戦績 34戦29勝(13KO)2敗3分け
- 7月19日後楽園ホール防衛戦

**10回KO勝ち 初防衛戦勝利!**



本校OBの大竹選手が今年5月18日、郡山市の品川萬里市長を表敬訪問しました。



「高校在学中の私は、プロボクサーになろうなどとは全く思っていませんでした。しかし、歩みは遅くとも、日本・東洋太平洋とベルトを獲得、チャンピオンまで登りつめることができました。

去る7月19日(水)、後楽園ホールにて同級8位の臼井欽士郎選手との初防衛戦に臨みました。試合結果は、10回KO勝ち初防衛に成功しました。この勢いで、さらに三本目のベルトである、“世界”を目指します。

同窓生の皆様の応援をよろしく願いいたします。」

大竹秀典選手のコメントより



## 須賀川支部

平成29年7月7日(金)午後6時半よりグランシア須賀川で総会が開催された。

参加者は会員・来賓合わせて17名。高校の来賓は校務所用の松井校長に代わり渡邊弘幸教頭が出席。本部からは、村山広嗣会長、宗像事務局長が出席した。

柳沼力夫須賀川支部会長の挨拶につき、総会が行われ、平成28年度の各種報告、29年度の各種案、新役員改選がスムーズに承認された。役員改選では村山氏が本部会長に就任したのを受け、欠員補充のため、廣瀬吉彦氏が副会長へ選出され承認された。

その後の懇親会では、柳沼支部会長、村山同窓会長、渡邊教頭の挨拶の後、和気あいあいとした雰囲気の中、高校時代の思い出話に花が咲いた。



## 船引支部

日大東北同窓会「アカシヤ会」船引支部総会が5月13日、船引町のなごみ亭で開催された。総会には会員7名が出席。

山代孝夫会長があいさつし、母校の文化祭や高校野球の応援など、平成29年度の事業計画を決めた。その後の懇親会では、会員同士が親睦を深めた。



## 第45回吹奏楽部定期演奏会 OB会会長激励

今年で45回目となる定期演奏会が5月7日(日)郡山市文化センター大ホールにて開催された。開演に先立ち、吹奏楽部OB会会長の渡辺忠義氏(昭和38年電気科2組卒 10期生)と五十嵐栄則氏(昭和40年普通科卒 12期生)がお祝いと激励に駆けつけ、部長の日下紗希さんに花束を贈呈した。2部のメリーウイドウセレクション(オペレッタからの抜粋)では、当日駆けつけたOB・OG約60名のうち25名がステージに上がり、現役部員と一緒に演奏した。総勢80名を超える圧巻のブラスの響きに会場からは惜しめない拍手が贈られた。



## 日大東北高校陸友会総会

本校の陸上競技部の同窓会にあたる「日大東北高校陸友会総会」が開催されました。同会は現在2年に一度、陸上競技部の近況報告、OB・OG会員の近況報告を目的に開催され、懐かしい顔ぶれが集まり親睦を深めています。同世代の卒業生の同窓会としての価値だけでなく、世代を超えた陸上競技部の先輩や顧問との交流の機会として、再来年の総会にはより多くの卒業生が集まることを願っています。



平成29年1月15日 於:郡山ビューホテル

## バドミントン部OB・OG大会2016開催

恒例となっているバドミントン部のOB・OG大会が昨年(2015)の8月14日(日)午前9時から母校の記念体育館で開催された。当日はお盆の最中にもかかわらず、多くのOB・OGが詰めかけ、後輩達とともにさわやかな汗を流した。なお、今年のOB・OG大会は8月11日(金)の「山の日」に予定されている。時間は午前9時から、会場は昨年と同様記念体育館(第1体育館)。今年も沢山のOB・OGの皆さんの参加をお待ちしていますとのこと。

当日の参加等連絡先、090-6783-9721 國分仁一郎会長まで。



2016年大会終了後記念体育館にて



## 叙勲おめでとうございます

「瑞宝双光章」・「瑞宝単光章」は日本の勲章の一つで2003年に創設され、瑞宝章6つの中のそれぞれ5番目と6番目に位置し、国家または公共に対して功労のある方を対象に、その職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し授与されるものです。叙勲受賞者は以下の通り。



### 瑞宝双光章

昭和49年卒 21期生 建築科  
佐藤 吉之氏 (担任：新井健一郎先生)

郡山市湖南町出身(会津若松市南花畑在住)  
東ティモール派遣経験 平成28年度秋の第27回危険業務従事者叙勲「瑞宝双光章」(防衛功労) 高校卒業後3年間建築会社に勤務した後、昭和52年に自衛隊に入隊。東ティモール派遣などを経験し、平成21年陸上自衛隊福島駐屯地第11施設群第一課長で退官。「仲間と汗を流したことが思い出に残る。」と自衛隊での歩みを振り返り、「今後も地域に貢献したい。」と抱負を語る。



### 瑞宝単光章

昭和49年卒 21期生 電気科2組  
橋本 正徳氏 (担任：高田一二先生)

郡山市富田町出身(同富田町在住)  
自衛隊員再就職を支援 平成28年度秋の第27回危険業務従事者叙勲「瑞宝単光章」(防衛功労) 昭和49年、陸上自衛隊入隊。第六高射特科大隊管理整備小隊長などを歴任。隊員の再就職にも尽力した。「家族の支えと上司、同僚、後輩のおかげで受章できた。」と感謝の思いを綴る。

昭和35年卒 7期生 機械科2組 鈴木 良幸氏

#### 渡邊和夫先生を偲ぶ

先生には私たちが入学から卒業まで(昭和32年度～34年度)の3年間、機械科2組の担任としてご指導を賜りました。先生の授業に取り組む姿勢は私語を許さない厳しさがありましたが、教室を出るとこやかに温かく接していただきました。3年生になって、進路の希望先をなかなか絞れない状況の私たちは先生に大変手を煩わせ、ご苦労をかけたように思います。

私たちが還暦を迎える節目に郡山ビューホテルで開催したクラス会に、先生は元気なお姿を見せてくださいました。卒業時人数の半数の級友がクラス会に集われ、先生を囲んで高校時代の思い出話に大いに盛り上がりました。

平成28年10月23日に郡山ビューホテルアネックスで開催したクラス会に、先生の夫人・テル様のご出席を賜り、先生を偲ぶクラス会を開催させていただきました。私たちの思い出話にテル様はご主人の若かった頃の時代に思いを馳せていたのでしょうか、感慨深げに耳を傾けてくださいました。

50数名を超えた級友も卒業以来57年の歳月が経ったいま、既に2割の級友が他界し、数名の住所不明者もいます。連絡可能な級友は30数名となりました。時代の流れとはいえ寂しい思いは拭えません。これからは、これまでの人生で支えて下さった多くの方々に感謝しつつ、恩返し的人生を明るく積極的に歩んでいきたいと思っております。

天国の渡邊和夫先生に「よく頑張りました」と級友の各々が報告できますように……。

クラス会だより



2000年11月25日 於：郡山ビューホテル



2016年10月23日 於：郡山ビューホテルアネックス

## 昭和35年卒 7期生 機械科1組 遠藤 巖氏

### 57年振りの母校訪問

先日は(平成29年2月22日(木)午前10時30分)57年振りの母校訪問に当り、事務局の先生方に歓迎と説明を受け、建物、実験室など見学することができました。母校の発展を見て心より喜ぶしいです。同行した友人の中には涙ぐむ人も何人かいて、大変感激していましたし、童心に帰って青春時代を顧みることができました。本当に有難う御座いました。

簡単ではありますが、お礼といたします。



## 昭和53年卒 25期生 普通科2組 嶋 栄吉氏

### 昭和53年卒2組 平成28年クラス会の活動報告

平成27年には、母校と同窓会が、創設60周年記念を迎えたとのこと、誠におめでとうございます。次の創設70周年記念に向けての歩みになるように、平成28年のクラス会の活動だよりをお届けします。

昨年は青森、郡山、東京等で、都合の付いた有志で、ミニ同級会を実施しました。小松基扶先生の自宅訪問をした際に、念願の初孫誕生の朗報を受けました。今後は先生の孫自慢のお話が聞けそうです。

現在、2年後の恩師小松基扶先生の喜寿と私達同期の還暦の祝賀の合同クラス会開催に向け、私が幹事を担当して連絡先の照会をしております。

つきましては、同期生の連絡を待っています。ご協力をお願いします。

《連絡先》

携帯電話：090-3644-0424

E-mail: eikichimomo@yahoo.co.jp

(担当/嶋栄吉)



安積町チャイニーズキッチンみなみにて福島在住の同窓昼食会 平成28年9月23日



恒例の恩師小松先生宅訪問と奥様と懇談 平成28年9月



上野駅にて東京在住の拡大同窓昼食会 平成28年7月10日

## 平成3年卒 38期生 普通科1組 野地 信光氏

### 平成3年3月卒業 普通科1組 阿部正栄先生

懐かしい学び舎を卒業してから、20数年・・・

突然に、同級会開催の知らせの連絡が、かつての級友から電話で回ってきました。これまで私達は、個々に連絡を取っていたのかもしれませんが、大多数が卒業後に各々、何をしているのか全くと言っていいほど興味が無く、まさか日大東北高校の同級会の話が出るとは誰も予想していなかったと思います。それが今回、級友の大病がきっかけで突然の開催となったのです。連絡を貰ったときは、はたして何人に連絡がつき、何人が集まるのだろうと思っていましたが、途中経過を聞いてみると・・・なんと約半数の20名が参加と言う事。この人数ではと思い、幹事に連絡を入れ、担任の「阿部先生」に参加していただくよう提案すると、是非にという答えが・・・

開催まであまり時間が無く、阿部先生には、連絡無しに突然ご自宅を訪問して参加交渉するという暴挙に出ましたが、出席を快諾していただきました。

当日、阿部先生、級友達と顔を合わせると懐かしい思い出が一瞬にして蘇り、すぐに「あの頃」に全員が戻った様に会話が弾みました。残念ながら今回連絡がつかず、参加できない級友もいましたが、次回、またいつか開催しようとなり、その日は解散となりました。またいつか開催する時の為に連絡網を作成しております。

<連絡先> 090-5597-9390 (担任:野地信光)

E-mail tn3720@yahoo.co.jp



クラス写真(阿部先生を囲んで)2016.10.8(土)

ク  
ラ  
ス  
会  
だ  
よ  
り



## 文化功労賞受賞おめでとうございます



### 平成28年度郡山市 文化功労賞受賞

阿部 雄一 氏

平成28年11月4日(金)に郡山市役所正庁(本庁舎2階)において、本校の元教頭を務められた阿部雄一先生が郡山文化功労賞を受賞されました。先生は平成18年から現在に至るまで、郡山相撲協会会長・福島県相撲連盟副会長を

務めるなど、多年にわたり相撲競技の指導および普及活動をはじめとした郡山市の体育の振興に寄与された功績が認められました。平成22年の「郡山市教育功労賞」(桜朵9号掲載)に続いた今回の受賞を心よりお祝い申し上げます。



## 返信はがき掲載希望コメント

江田真澄氏(普通科:平成22年3月卒業 現住所 山梨県)

平成22年日大東北普通科卒業の旧姓小熊です。現在は長女が生まれ、育児に奮闘中です。

2015年10月に旦那の転勤で甲府へ引越しました。出産のため会津に戻りましたが、また甲府に戻り3人で生活します。親バカだと言われるかもしれませんが、クラス会がありましたら娘の写真を見せたいです。(笑)

名木正則(普通科:昭和48年3月卒業 現住所 埼玉県)

最近私が住んでいる町内会のゴルフ会に参加したら、日高の先輩で第6期卒業の岡部さんと話をし、高校時代がよみがえってきました。また桜朵14号を見ましたら、担任の阿部雄一先生の写真を見て驚きました。あまりの嬉しさについペンを取り連絡してしまいました。同級生の中に日高の先生になった人がいると風の噂で聞いた、橋本誠君は元気なのも気になってしまいました。20期生の皆様が元気で過ごすことを祈ります。

橋本善夫(電気科:昭和38年3月卒業 現住所:埼玉県)

今年住みなれた郡山から埼玉県へ引っ越しました。毎年、同窓会を開いていますが多くの参加者を待っています。私(橋本善夫)又は代表幹事の渡辺忠義君へご一報いただければ幸いです。

小玉猶美(電気科:昭和39年3月卒業 現住所:福島県)

昨年、日大東北の桜を見に行きました。52年振りの母校でした。ほとんど昔の面影はなく、私達は入学時、旧兵舎でした。2年の頃に新校舎が完成し、そこに入れました。その時の感動を思い出します。その校舎二棟は昔のままでした。大学がグライダーを飛ばした所、剣道部の道場があった辺りを推測して歩きました。母校や工学部の桜は本当に見事でした。

靄田雅之(普通科:昭和51年3月卒業 現住所:福島県)

～～同期会(還暦のつどい)幹事募集～～

昭和51年3月卒(23期生)の工業科・普通科合同の「還暦のつどい(仮称)」をこの秋11月に企画しています。現在、代表幹事を募

塚田好重(機械科:昭和35年3月卒業 現住所 東京都)

今回の学校訪問、卒業以来初めての訪問楽しく過ごしました。校歌を聞いた時思わず涙が出ました。すばらしい学校になっており嬉しく思います。大変御世話になりました。有難う御座いました。

添田浩一(機械科:平成11年3月卒業 現住所 福島県)

娘が3才7ヶ月を迎えました。先日、運動会がありました。今日は、自分が娘と頑張って走ったりして疲れしました。次回は今よりも体力をつけて望みたいと思います。会報も楽しみにしています。同じクラスの人がいたら同窓会に参加したいと思います。

榎本忠(旧姓:田母神)(建築科:昭和31年3月卒業 現住所:東京都)

「桜朵」の第14号をお送り頂き有難うございました。3期生の私、在学中はあの兵舎で学んだ事を記憶に残っております。あの当時は大半の生徒が下駄履きで登校しておりましたが、雨の降る日雪の降る日はぬかるんだ道を歩くのは大変難儀したと、生徒は丸刈り(坊主刈)と決まっておりました事を覚えております。あの当時卒業する間際まで決まっている方はほんの僅かで、おまけに私は頭が良くなかったので尚更でした。母に「手に職を付けなさい」と言われて理容師として現在も細々ながら自営業として息子と頑張っております。年齢を意識しない様にしています。

中山定信(建築科:昭和48年3月卒業 現住所:千葉県)

昭和48年3月卒業建築科の最新の住所及び連絡先の分かるE-mail・携帯番号等知りたいと思います。下記まで連絡よろしくお願い申し上げます。

会社 エヌ・ワイ構造設計

TEL.03-3986-3454 FAX.03-3986-3473

E-mail ny-kozo-sekkei@nifty.ne.jp

集中です。一緒に企画に参加していただける方は連絡ください。なお、代表幹事会を経て日程等が決まり次第、同窓会のHPを通じてお知らせする予定です。

携帯:080-1843-9989 アドレス:mac.1070@docomo.ne.jp

## 矢吹町PR大使就任

津吹実佑さん 平成26年卒 第61期生 普通科

6月27日、矢吹町文化センター小ホールで、本校OGの若手演歌歌手 津吹みゆさん(矢吹町出身クラウンミュージック所属)のPR大使就任記者会見が行われた。

委嘱状交付式の席上、「高速道路の矢吹インターを出ると目の前に矢吹中学校が見え、ふるさとに帰ってきたんだと実感が湧きます。PR大使就任は大変嬉しく幸せに思います。私を育ててくれた町に今度は私が恩返しする番です。全国各地のコンサートで、今まで以上に矢吹町をどんどんPRします!」と、大使としての意気込みやふるさとへの想いを笑顔で語る。

会見後のミニコンサートでは「会津・山の神」「望郷恋歌」「雨の向こうの故郷」3曲を熱唱。会場に詰めかけた多くのファンを魅了した。



矢吹町町長より委嘱状を受け取る津吹みゆさん

## 退職教職員の会

5月27日(土)アカシヤ館1階食堂において、佐藤久雄先生と柳沼正人同窓会会長のご逝去を悼む黙祷の後、定例総会が開催された。小山田正宏会長の挨拶、松井校長の挨拶に続き、校務出張中の渡邊教頭に代わり高須教務主任より学校の現況報告を受け、その後会務報告と行事の審議がなされた。例年5月の第2土曜日に開催されている総会だが、今年は都合により第4土曜日となったことから、高体連に関係しておられる先生方数名は欠席だった。新しく阿部雅壽先生も入会された。

なお11月6日(月)には、ビューホテルアネックス「舟津」での昼食会を兼ねて懇親会が予定されている。



3列目左より 小林直喜先生 山岸利正先生 佐藤光良元課長補  
齊藤栄一先生  
2列目左より 塩田正宏先生 塩谷郁夫先生 太田興亜先生  
外山公平元課長 益孝孝元先生  
1列目左より 海老名幸男先生 小山田正宏先生 菊地修三先生  
藤田周孝先生

### 【個人情報の取り扱いについて】

1 ご提供いただいております個人情報は以下の目的で使用いたします。

同窓会が本来の目的とした活動をする場合、また必要と思われる作業を進行する際など合法的な目的のために活用する場合。(同窓会会報、総会通知、クラス会通知、支部会通知、周年募金・寄付活動・会費徴収の発送宛名及び各種リスト等) 同窓会会員名簿の作成。

上記1の使用に当たっては、氏名、フリガナ、郵便番号、現住所、電話番号、勤務先名、勤務先電話番号を利用させていただきます。

### 2 個人データの第三者提供の制限

ご提供いただいております個人情報の内容は、本人の承諾なしに学校、同窓会関係者以外の第三者に開示、提供することはありません。ただし、以下のような場合は、例外として情報を開示できるものといたします。

### 法令の規定による場合

ご本人及び公衆の生命、健康、財産等の重大な利益を保護するために必要な場合

### 3 個人情報管理について

ご提供いただいております個人情報はデータ処理等の業務委託をお願いしております業者において機密保持に万全を尽くすこととの確約を得ております。

### 4 個人情報の開示・訂正・削除について

個人情報は原則として本人に限り、開示・訂正・削除・利用の停止を求めることができます。

個人情報の取扱に関する件で何か申し出がある場合は、同窓会(日本大学東北高等学校同窓会(アカシア会)へ左記のハガキ、もしくは下記ホームページよりご連絡ください。

ハガキでの返信もしくはホームページへの返信のなき場合には、承諾していただけましたものとさせていただきます。ご了承いただけますようお願いいたします。

### お問い合わせ

日本大学東北高等学校同窓会

郡山市田村町徳定字中河原1

<http://www.nichidai-tohoku-dousoukai.com>



●皆さんの近況をお知らせください。  
クラス会の呼び掛けや近況報告を会報に掲載することができます。

※会報に掲載を希望する方は、に印をしてください。 掲載希望  
に印がない場合は掲載をいたしません。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※本用紙に記入された個人情報は会報・案内等を送付する際に使用します。今後継続して、事務局からの案内の送付を希望されない方は、下記の印を付して返送もしくはホームページよりご連絡ください。

会報・案内の送付を希望しない。

日本大学東北高等学校同窓会

<http://www.nichidai-tohoku-dousoukai.com>



お悔やみ(編集後記にかえて)

心よりご冥福をお祈り申し上げます。



柳沼 正人 前会長

平成29年1月18日  
享年66歳



佐藤 久雄 教諭

平成28年7月27日  
享年53歳



石川 信義 元教諭

平成29年5月8日  
享年70歳

◆13年間にわたり本会の発展に貢献された柳沼正人前会長が今年1月18日逝去された。「3月には復帰するから…」と語った受話器越しの声が今も鮮明に耳に残る。柳沼前会長の後押しがなければ会報誌「桜采(OUDA)」の復刊はなかった。強化部集会や卒業前講演にも度々ご足を運び後輩達を鼓舞して下さい。何よりも野球部への想いは人一倍熱く、甲子園基金の創設や管理にも尽力された。

過去出場した甲子園では真っ先に球場に駆けつける方だった。

◆事務局を担当しておられた芸術科の佐藤久雄先生(書道29期卒)が亡くなられたのは平成28年7月28日。享年53歳。あまりにも早すぎる若さで生涯を閉じたことに言葉を失う。書を愛し、人を愛し、何より生徒をこよなく愛する同窓教員が旅立ったことが本当に残念でならない。本館前にある校歌の石碑の前に立つと、指先をちよいと舐めて文字を書くしぐさをする久雄先生に今でも会えるような気がする。

◆高2の体育の授業で石川先生から「大腰投げ」を受けた。一瞬にして身体が宙を舞い畳に叩きつけられたが、全く痛くなかった。母校に戻ってからは「先生よ、全国の先生の中に、母校の教壇で後輩を指導できる幸せな教員がどれだけいると思う?そんなに多くないよ。だから、感謝しなくっちゃ。一所懸命やんないとない。」先生の言葉は教壇に立つ私への励ましであり、戒めでもある。

「『ジャイ』と親しまれた石川信義先生。先生から教えていただいた柔道の厳しさ・面白さ・奥深さ、そして先生のはにかむような笑顔を決して忘れません。ありがとうございました。」との言葉を寄せてくれたのは、平成18年普通科卒53期生、柔道部OGで現在情報科非常勤講師をしている遠藤夏美先生。「日大東北柔道部」を育て、導いてこられた『ジャイ(アン)』こと石川先生の熱い魂は多くの教え子たちに脈々と受け継がれている。

お三方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。(合掌)

◆桜采15号発行にご協力いただいたすべての方々へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

桜采編集部 高橋敏行 26期生

郵便はがき

9 6 3 1 1 9 0

料金受取人払

郡山局承認

3257

郡山市田村町徳定字中河原 1

差出有効期限  
平成31年8月6日迄  
です。切手をはらず  
にお出ください。

日本大学東北高等学校

同窓会 行



現住所	〒		都道府県
TEL	携帯		
		生年月日	男・女
氏名			
卒業年	※いずれかに○をつけてください。 建設・機械・電気・工業化学 普通・土木・建築		

桜采編集部よりお知らせ

《同窓会のHP(ホームページ)について》

同窓会のHPでは、「住所変更」や「お問い合わせ」が可能です。さらに会報誌「桜采OUDA」1号～15号のバックナンバーもご覧いただけます。

平成30年夏発行予定の「桜采(OUDA)16号」の原稿を募集いたします。

高校時代の思い出「当時をふりかえって」やクラス会等の記事を継続募集いたしますので、桜采編集部までお寄せください。応募要領は次の通りです。ご本人のお名前・卒業年度・科・卒業時担任名・連絡先(住所、電話、FAX番号またはメールアドレス)を明記の上ご応募ください。

- 1) 原稿内容：高校時代のエピソード。
- 2) 文字数：400～800字以内。
- 3) 締切り：随時受付しておりますが、平成30年夏発行予定分の掲載締切りは平成30年4月末日とさせていただきます。  
※締切り以降の受け付け分に関しては次年発行予定分に掲載させていただきます。
- 4) 応募方法：メール、FAX、郵送でもお受けいたします。
- 5) 応募先：メールアドレス kaihou.ouda@gmail.com  
TEL024-956-8841(高校事務課)  
FAX024-956-8873  
住所 〒963-1165

福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地  
日本大学東北高等学校同窓会 桜采編集部